

1月定例議会全員協議会 質疑要旨

○ 議題1 中野市まちづくり基本計画案について

質 疑	回 答
住宅開発等について、基本計画の網がかかるのはいつか。	4月1日の公表ですので、4月1日から届出制度の運用が開始されます。
市内で現在、開発を進めているところについては4月1日以降規制がかかるのか。	現在行っているものについてはかかってくることはありません。
まちづくり基本計画と実施計画の関連性だが、基本計画に載っている事業を実施計画に計上し行っていくことでいいのか。	今後、基本計画に載っている事業について実施計画に計上し行っていく事業もありますし、既に実施計画に計上している事業もあるため、その都度、各年度の予算で対応していきます。
概ね5年ごとの見直しとあるが時代の流れによって、その時の状況によって見直していくという解釈でいいのか。	事業ごとに必要に応じて見直しを考えています。
浸水リスク、土砂災害リスクが高いエリアに該当する個所について、既存以外の新設の工場や住宅開発の抑制の方法や周知について市としての考えは。	災害リスクが高いエリアだということを住民が認識いただき、災害に対応した住居構造で建設いただくなどの対応をしてもらうこと。周知の方法については、くらしと防災ガイドブックに反映したり、広報等で周知していくことを考えています。
都市計画道路の未整備区間及び候補路線等あるかと思うが、いつ頃見直しを考えているのか。	未整備区間および候補路線等につきましては、今回、まちづくりの基本方針を示したので、来年度実施する都市計画基礎調査の結果を踏まえ、個別路線ごとに検討していきたいと考えております。
未整備路線は建築の規制もかかっているところもあるため、早急に見直しを図ってほしい。(要望)	
パブコメを行う際の資料は概要版だけか。	概要版は今回の説明用に作成したものであるため、冊子を載せる予定でいます。
住民説明会での意見で、抽象的で具体性がないという意見があったが、冊子については具体的なことの記載があるのか。	地域別構想に具体的なものや着手しそうなもの、現在行っているもの等、各地域の実施計画のような形で載せている。パブリックコメントの際もよりわかりやすいように冊子と別に概要版も載せていきます。
概要版ですらもわかりづらいという市民の声もある。願わくば市民にわかりやすいように何が変わって、どこがポイントか、20年後にはどうなっているのか、それに対して市民にどんな協力をいただき	

たいのか示してほしい。(要望)	
都市機能の配置方針の中心拠点エリアの誘導施設の設定の中の教育・文化機能の中で高等学校があり、エリア内には立志館高校はあるが中野西高はない。この段階で高校の再編は立志館高校でという考えなのか。	そのような考えで設定しているわけではありません。
中野西高が中心拠点エリアから抜けていると、誤解を招く場合がある。何か注釈を入れたほうが良いのではないかと(要望)	
立地適正化計画の冊子の最終ページにロードマップが載っているが、立地適正化計画は5年ごとに見直しを行うようになっており、20年後には再度、基本計画の見直しを行うようになっており、最終的な目標に沿って計画を推進していくと考えていたが、このロードマップの背景はどんな考えからきているのか。	ロードマップの20年後のまちづくり基本計画の見直しにつきましては、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の目標年度を20年後と設定しているため、このような記載になっております。都市計画マスタープランは概ね10年に1度、立地適正化計画につきましては5年に1度、見直しを行うこと。目標年度の20年後には再度、全体計画を見直ししていくということでこのような記載になっております。
こういう大きいプロジェクトについては、ロードマップをきちんと作成し最終目標はこうなるんだということを市民に示してほしい。(要望)	
この計画は市民の生活実態や思いを反映させるべく作った計画だと思うが、アンケート調査を実施した3,000人は、専門の方が受託してやっていることから問題はないかと思うが、この人数で十分なサンプルが取れると考えているか。	この計画の策定にあたっては専門性のある業者に委託して行っているが、業者の考えを基に3,000人という数字を設定させていただきました。16歳以上の市民を無作為抽出してアンケートを取ったため効果はあると考えています。
アンケート回収率が41.6%だが、回答されない方や回答できない方の思いが実は深刻なものがあるのではと考えている。そういった表れていない思いについてはどのように反映していくと考えているのか。	アンケート結果や住民説明会での意見、また専門性のある方々からの意見を徴取していることから、ご理解をお願いしたい。
アンケートは困ったことをそのまま記載することは難しい。また住民説明会に参加しても参加者が少ない。大事な計画であるため、今後はアンケートだけでなく直接市民の声を聞く機会を設けていくことを検討してほしい。(要望)	

<p>都市機能の配置方針の中で様々な施設の記載があるが、市民アンケートの中で買い物がしやすく、活気があふれる中心市街地を持つまちを将来像にあげる意見が多い。高齢者も生活しやすいまちをという考えが滲み出ているような結果である。商業施設について一切触れていないが、市としてはどのように考えているのか。</p>	<p>商業施設は誘導施設ではあるが、現在、中心市街地には無いという状況であります。中心市街地、特に駅前あたりの人口減少が激しい。D I Dについては比較的、西の商業地域へ移動している。中心市街地には市役所や病院などの誘導施設の設置はあるが、コンパクト＋ネットワークの考えでそれぞれの拠点を結び付けていく考えであります。市街地の空き家や低未利用地の活用を積極的に考えていきたい。</p>
<p>人口が減少してはいけないところが減少している。商業施設や飲食店など魅力的な施設があれば人は集まってくる。魅力的な施設を民間に任せるだけでなく行政も力添えをしていくべきと考える。(要望)</p>	
<p>中心拠点エリアを設定した理由はどんなことからか。コミュニティ拠点ではどのような施策を考えているか。</p>	<p>中心拠点エリアだけでなくコミュニティ拠点でも居住の維持を図る施策や移住定住を図る施策は既存の施策を含めて考えている。全体的な底上げで中野市が発展していけばと考えています。</p>
<p>立地適正化計画については、県内において中野市が後塵をはいしていると考えている。他市町村の先進事例等を研究しているのか。</p>	<p>立地適正化計画につきましては、今回、都市計画マスタープランの見直しと併せて実施したわけですが、立地適正化計画を策定することにより様々な支援メニューがあり施策を行うことができる。各市町村の事例を参考にして今後は進めていきたいと考えています。</p>
<p>拠点同士を公共交通ネットワークで結ぶとあるが、周辺道路のつながりを市としてどう考えていくかという会議があってもいいのではないかと考えます。(要望)</p>	
<p>基本計画の中で、中野市独自で作成した点などはあるのか。</p>	<p>インフラを整備していく。その中でD I Dを維持していくことで中心市街地が存続していく。そのための施策を行うことやネットワークを維持することで人口減少を抑制し市全体を底上げしていくようなコンセプトで作成しています。</p>